

## ■ドイツ：風力の余剰電力で危うく系統崩壊

2012年4月1日付のドイツ有力紙によると、3月28日21時頃、ドイツ東部の系統で大量の余剰電力が発生、系統崩壊の危機に陥ったことから同地域の系統を管理している送電系統運用者 50Hertz 社は数百万 kW の従来電源（火力発電など）と 220 万 kW の風力発電設備を系統から解列した。同地域で多くの電源を所有・運転しているバッテンファル社のスポークスマンは「北東部における大量の風力発電、北東部のザクセン・アンハルト州と北西部のニーダーザクセン州の間を結ぶヘルムシュテート変電所の事故、ブロックドルフ原子力発電所の計画外停止が重なった」と語っている。同紙は今回の解列に関して、福島原発事故後にドイツ北西部で原子力発電所が 2 基閉鎖された中で、同じ地域に位置するブロックドルフ原子力発電所は系統安定化に重要な役割を果たしており、この発電所の停止が影響した可能性は排除できないとしている。